



東京洲高

洲高を応援しよう
～洲高魂いつまでも～

題字
秦莞二郎
(洲本高校 7 期生)



総会会場 霞が関ビルから国会議事堂をのぞむ



総会会場 霞が関ビル

第 10 号

2016 年 9 月 12 日
兵庫県立洲本高校
同窓会東京支部会報

洲本高校同窓会東京支部
事務局長 正井敏文

東京洲高同窓会
HP アドレス
<http://www.tokyosuko.jp>

「淡路の文明開化と教育

洲高23期生

兵庫県立洲本高校の前身である県立洲本中学校の創設は明治30年4月である。それまでの中等教育機関はというと民間による私塾であった。

中でも積小軒という私塾は近代化の推進者たるべき優秀な人材を多く輩出した。この積小軒の主宰は安倍喜平（あべきへい）という人である。後に淡路の福沢諭吉と称され淡路島の文明開化の先覚者と言われた人である。

商家に生まれた安倍喜平は幼い頃から学問好きで国学は大國隆正の影響を強く受け、数学は福田理軒に学び、その他様々な学問を独習により修得して慶応2年（1866）23歳にして積小軒（せきしようにけん）を開塾した。開塾の趣旨は新しい日本国家を支える人材を育成することであった。積小軒は喜平が亡くなる前年の大正3年までの40

数年間続けられ、千人を超える門人が育ったと言われている。そして喜平は積小軒の門人たちと共に淡路の近代化を推進するのである。

喜平が取り組んだ文明開化の主なものを挙げてみる。

明治5年、厳島神社社地に郵便局を設置。明治7年には郵便路線を測量、翌年地租改正に伴い地図作成の為、全島の測量に取り組む。この測量に際し「積小儀」という測距具や地図を拡大縮小するため「伸縮儀」を発明し、さらに太陰暦から太陽暦に改まったことを記念して「太陽時計台」を設置するなど、測量家また発明家としても活躍する。次に取り組んだ文明開化は、活版印刷所の開設と「淡路新聞」の発行である。明治10年3月に発刊。発刊の趣旨は島民の文化的向上である。淡路新聞社員のほとんどは積小

軒の門人で後に日本新聞界の頂点に立つ者や国会議員をも輩出した。この新聞発行が喜平の業績として最も評価されるべきものであった。

喜平は商業、文化発達の為には迅速な通信と交通機関が必要であるとして、淡路汽船会社（明治13年）の設立や電信局設置（明治16年）に尽力し、洲本商工会を設立して自ら初代会長となり商業発展にも貢献した。

そして産業振興として紡績会社の設立運動にも関わり、明治28年、島民出資による淡路紡績（株）が設立。さらに洲本港湾整備の為、洲本川付替（明治35〜37年）という画期的事業に港湾改修委員として尽力するのである。冒頭にも記したように安倍喜平はそもそも教育者である。喜平は私立中学校の設立にも取り組んでいる。明治25年私立育英義塾の塾長予定者となるがこの私立中学校設立運動が引き金となり県立洲本中学校設置が決まり明治30年

県立洲本中学校が開校するのである。この洲本中学校開校まで「積小軒」が淡路の中等教育機関としての役割を担ったのである。私立育英義塾は幻の中学校となった。

明治43年（1910）、喜平が古稀を迎えるに際し、「積小軒同窓会」が結成された。

そして同窓会主催による一流大学の博士を招いての大講演会が玉尾座で開催された。その時の役割分担表が残っており、その中に川路寛堂（かわじかんどう）の名がある。寛堂は東京から招聘された人で淡路高等女学校の初代校長である。また、洲中3代校長となる永田秀次郎は、喜平没後に作成された喜平の功績陳情書に積小軒同窓会の一員として署名している。川路寛堂、永田秀次郎ともに淡路高女、洲中の校長として敬慕の念を以て積小軒の門をくぐり喜平と親しく交わったのだらう。幕末明治の開明的人物安倍喜平の名を郷土淡路の偉人の一人として是非とも記憶に留

めておいて頂きたい。（了）
【27年度総会の講演より】



安倍喜平



大正13年に竣工した洲本中学校の物部校舎『世紀を超えて』より

安倍喜平氏 記念写真

浦上雅史氏提供



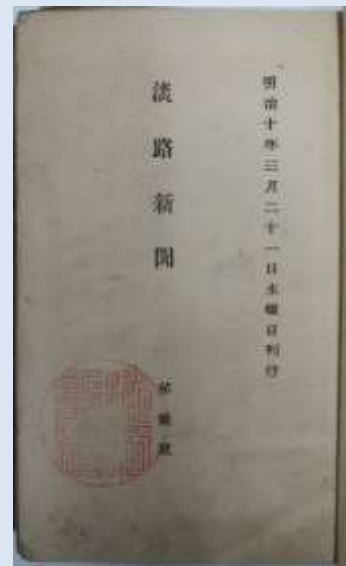
積小軒同窓会の記念写真。喜平古稀の時か。中央子供の後ろが喜平。



総会で、講演される浦上雅史氏



喜平が考案した太陽時計台（高約 90cm）。
弁天さんの境内地にある。



「淡路新聞」第 2 号の表紙。
(縦 20cm,横 13.5cm,26 頁)月 4 回発行された。



「数学三千題」の目録



積小軒で使われた数学の教科書「数学三千題」

平成 27 年度 総会風景

東京洲高同窓会 HP <http://www.tokyosuko.jp> にも、写真満載です。



出席の皆さんです。懐かしい顔ありますか？



総会 東京支部支部長挨拶



洲本高校同窓会代表（坪内氏）挨拶





懇親会 正井事務局長挨拶



淡路島クイズ 彼の好みはどの女優さん？



淡路島クイズで大盛り上がり



クイズの賞品 どれにしようかな



応援団 OB が締めました



若手も参加しています

「お福さんマークの元祖わかめ麺」

【解答と解説】

Q1 C 「至誠・自治」が洲中、「勤勉」が高女、「親和」が洲高発足時に加えられました。

Q2 A 阿久悠さんの好物ということ、葬儀の際の香典返しとして贈られたそうです。

Q3 A 芸術コースは存在しない。

Q4 B 生のサワラは、足が早く、漁師町以外では食べる機会がなかったが、多くの人に味わってもらいたいと、島内の飲食店の協力のもと「島の漁師めし」として商品化された。

Q5 A 兵庫県は、銅鐸出土点数が全国1位で、計68点のうち21点が淡路島。

Q6 B かつてのカネボウ紡績工場の建物を活用し、鬼頭梓が改修設計した洲本図書館。同紙では、「赤レンガ建築の迫力ある外観が見所」、「優しくあたたかく居心地がよい」と評価された。

Q7 C 『幻香』の舞台は栃木県。『神苦楽島』は、浅見光彦が編集長からの依頼で淡路島に取材にやってくる事件に巻き込まれていく話。『遺骨』は、淡路島を取材で訪れるところから話が始まる。

東京支部役員おすすめ「淡路島のお土産」第1弾 『お福さんマークの元祖わかめ麺』

帰省のたびに購入しているヘルシーな一品をどうぞ!

富田メイ子(昭和41年生)

東京に出て来て来ずいぶん経ちます。子供が小さかった頃は毎年夏休みには帰郷していましたが、最近はお見舞いや法事、お墓参りなどになっています。

淡路には特産物がたくさんあり、その都度お土産選びに迷います。海産物、玉葱、淡路牛など、いろいろあるなかで、この頃は「健康」という言葉に敏感になっていて、「お福さんマークの元祖わかめ麺」(わかめ麺製造販売株式会社)に目が留まってからは、もうこれに決めていきます。

わかめの香りの緑色の麺は、化学調味料も合成着色料も使用されていないので、安心しておいしく味わうことができます。また、昭和天皇・皇后両陛下が昭和60年に淡路島をご視察された折、ご用命を受け、「おいしい」と賛辞を頂いた献上品とのことです。ヘルシー志向の今、ご自宅にもまたご贈答品としても重宝なお品です。生麺と乾麺があり、生麺は冷凍保存が可能です。



「お福さんマークの元祖わかめ麺」 2食入り 600円(税込)

なお、この「わかめ麺」は、今秋開催される同窓会東京支部の総会・懇親会(詳細は最終ページに掲載)で、お土産として参加者全員にお配りします。どうぞお楽しみに!

- 平成25年度の総会・懇親会からスタートした「淡路島クイズ」は、毎回白熱する人気のコーナーです。ここでは、27年度のクイズを一部抜粋してご紹介いたしますので、懇親会に参加されなかった皆さんも、チャレンジしてみてください!
Q1 洲本高校の校訓で組み合わせが正しいものは?
A 至誠、努力、自主、親和
B 至誠、創造、自律、親和
C 至誠、勤勉、自治、親和
Q2 洲高OBの阿久悠さんが特に愛したと言われる銘菓は?
A 泉屋のクッキー
B ヨックモックのシガール
C 豊島屋の鳩サブレ
Q3 27年度の洲本高校について間違っているものは?
A 芸術コース開設
B 洲本高校連が淡路島祭りで踊りを披露した
C 夏休みに中学生対象のオープンハイスクールがあった
Q4 「島の漁師めし」 淡路島の生〇〇井」として、島内20店舗で食べられる魚は
A シラス
B サワラ
C タチウオ
Q5 今年4月に南あわじ市で出土した銅鐸(どうたく)に関連して正しいのは?
A 兵庫県は銅鐸出土点数が全国3位
B 最古段階(弥生前期)の銅鐸があった
C 銅鐸の内側に小さい銅鐸がはめ込まれた入れ子の状態で発見された
Q6 日本経済新聞の土曜版「日経プラスワン」の「一度は訪ねて読書をしたい美しい図書館」ランキングにて西日本で3位を獲得したのは?
A 津名図書館
B 洲本図書館
C 三原図書館
Q7 内田康夫さんの浅見光彦シリーズで、淡路島が舞台になっていない作品は?
A 『神苦楽島』
B 『遺骨』
C 『幻香』

沙路島 E の 豊 幸 大 洋 館 長 を 多 才 に 財 団 を 創 立 !

母 々 央 国 下 見 る 「 う め だ ん 」 の 央 国 下 一 歩 へ 飛 び 上 げ 目 録

淡路島を舞台にした映画『あつたまら銭湯』が、9月17日から19日に淡路島で開催される「うみぞら映画祭」で上映されます。製作したのは、洲高OBで映像ディレクターの大継康高さん（平成12年卒）。主演は、これまた洲高OBで俳優の笹野高史さん（昭和42年卒）です。「うみぞら映画祭」は、大継さんが主催する「海の映画館をつくる」プロジェクトによるイベントで、同プロジェクトは「淡路島を舞台にした映画の製作」「海の映画館をつくり映画祭の開催」を目的に発足されました。洲本市の大海水浴場に設置した大型スクリーンで『あつたまら銭湯』を上映するほか、映画館「洲本オリオン」、レストラン「タイムアフタタイム」では、淡路島がロケ地となった映画や、海が舞台になった映画を上映。また、淡路島グルメを堪能できる食のイベントも同時開催されます。

大継さんは、多くの人に淡路島を訪れてもらい、「海辺の癒し」「淡路島の魅力」を感じてほしいといっています。洲高OBが手がける映画祭に、ぜひ

足を運んでほしいのですが、遠く離れた故郷に帰るのは難しい方も多いでしょう。そこで、首都圏近郊にお住まいの洲高卒業生の皆さんに朗報！今年度の同窓会東京支部の総会で『あつたまら銭湯』を上映し、監督の大継康高さんに講演していただくことになりました。詳細は、本会報の最終ページに掲載しています。この機会にぜひ、総会にご参加ください！



『あつたまら銭湯』の撮影風景。笹野高史さんと松原智恵子さんが演技中



映画祭の仕掛人でもある監督の大継康高さん

現 在 の 沙 路 島 村 を 生 産 大 東 京 の 大 学 へ 企 業 を 言 語

「 未 来 探 究 東 京 ツ ア ー 」 の 活 躍 報 告

毎年恒例となった洲本高校2年生による「未来探究東京ツアー」、今年は8月3～5日に開催されました。

同ツアーは首都圏の最先端の研究施設や大学、企業などを訪問し、学習意欲や進路意識を向上させることを目的に実施されています。なかには洲高OBが活躍している施設や企業もあり、在校生にとって、よい刺激を受ける機会となっています。

今回は、総合探求類型の生徒22人が上京。同窓会東京支部との交流会では、津田支部長のほか6名の役員とOBが参加し、自身が進学や仕事で東京に出て来た体験を生徒の皆さんにお話ししました。



生徒にとって、未来を具体的に考える貴重な機会

洲本高校 学校長 越田佳孝

「未来探究東京ツアー」は、総合探究類型が設置されて以来、その中心となっている行事です。東京大学や中央官庁、メディアセオをはじめとする先輩の企業、JAXA(宇宙航空研究開発機構)、味の素のナショナルスポーツセンターなどを見学し、東京在住の諸先輩と交流する機会もあります。学問や研究の最先端の施設

等を訪問し、活躍している先輩の話を直接聞きすることは、洲高での「学び」をより具体化し、自らの心に描く未来と結びつける貴重な機会となります。自ら考えることを大切に、「なぜ？」を「わかった！」に変える普段の学習に大きな刺激を与えてくれます。毎年、「未来探究東京ツアー」に参加した生徒は、淡路島から遠く離れた東京の地で活躍する同窓会の懐の深さと先輩の方々の母校愛を目の当たりにし、洲本高校で学んでいることの責任に対して思いを新たにしています。

■役員紹介

支部長	津田喜人	昭41卒
副支部長	吉池建一	昭40卒
副支部長	榎本裕子	昭41卒
副支部長	正井敏文	昭43卒
副支部長	岡坂久隆	昭49卒
副支部長	富田メイ子	昭41卒
副支部長	中野英男	昭43卒
副支部長	橋本 満	昭45卒
副支部長	坂本裕子	昭45卒
副支部長	青木千代	昭46卒
副支部長	坂本敦子	昭46卒
副支部長	原田佐紀子	昭46卒
副支部長	納 新二	昭47卒
副支部長	村上卓也	昭50卒
副支部長	米野雅文	昭54卒
副支部長	東 睦治	昭57卒
副支部長	伊藤美喜	昭57卒
副支部長	奥野恵正	平元卒
副支部長	浜辺美佳子	平12卒

【収入の部】			【支出の部】		
	(平成26年度)	(平成27年度)		(平成26年度)	(平成27年度)
科目	決算額(円)	予算額(円)	科目	決算額(円)	予算額(円)
前期繰越金	969,243	859,629	役員会・事務関係費	185,974	190,000
本部補助金	200,000	100,000	振込み手数料等	28,248	30,000
年会費	335,000	440,000	会報印刷費	52,806	50,000
総会費	432,000	480,000	総会費通知費用	171,377	170,000
寄付金等	92,000	70,000	総会費	680,624	658,000
その他(利息)	219	0	広告代(県人会)	10,000	10,000
収入合計	1,059,219	1,090,000	ホームページ費用	39,804	40,000
収入総計	2,028,462	1,949,629	寄付金等	0	0
			今期支出合計	1,168,833	1,148,000
			次期繰越金	859,629	801,629

☆平成二七年総会決議
 平成二六年度決算報告承認の件
 〔一〕号議案
 平成二七年度予算案承認の件
 〔二〕号議案

年会費のお支払いと 寄付のお願い

毎年、年会費、寄付にご協力いただき感謝申し上げます。昨年は 220 名の方に年会費を頂き、24 名の方に寄付をいただきました。

総会、懇親会に参加できない方も東京支部の活動継続のために、年会費のお支払いにご協力をお願いします。

従来、普通会员、維持会員で会費が分かれていましたが、支部活動の財政緊迫から一昨年度の総会で会費の統一が承認されました。昨年度から**会費は 2,000 円** に統一しております。この枠を超えて応援していただける方は**寄付**という形をお願いします。

近年、関東地区への進学、就職が減っており、東京支部としては、母校洲本高校の活性化のためにも関東で働く卒業生を増やしていくことが必須と考えております。微力ではございますが、このための活動を支えるためにも本支部活動の継続は必要であると考えております。

同窓会東京支部の役員を 募集しています！

同窓会東京支部には、現在 19 名の役員がおり、幅広い世代の OB、OG が活動しています。総会・懇親会、本会報誌の発行、現役洲高生の東京訪問時の交流のために、年 6 回の役員会 (2 時間) を行い、準備をしています。活動に興味のある方は、ぜひ、事務局 (本会報表紙掲載) までご連絡をお願いします。

平成 28 年度 洲本高校同窓会東京支部 第 12 回 総会・懇親会開催のご案内

開催日時：平成 28 年 11 月 23 日 (水曜祝日／勤劳感謝の日)

受付：10:00 総会：11:00 懇親会：13:00

開催場所：東京霞ヶ関ビル 35 階「東海大学校友会」

TEL：03-3581-0121

【総会】11:00～12:45

平成 27 年度会計報告、平成 28 年度予算報告など。その後、洲高卒業生を講師にお迎えして、講演会、映画上映会を行います。

講演：「淡路島の海と映画と私」

講師：大継康高 (おつぎやすたか) 氏

1982 年 2 月 7 日淡路島洲本市生まれ。2000 年に洲本高校卒業後、京都の大学へ。卒業後は京都の映像制作会社に入社。2012 年に独立後、株式会社海空を設立。地元である淡路島を盛り上げたいという思いから「海の映画館をつくろうプロジェクト」を立ち上げ、2016 年 9 月、『うみぞら映画祭』を開催、自ら脚本・監督を務め、淡路島を舞台にした映画『あったまら銭湯』を上映。

講師のひとこと：私が、今回「海の映画館をつくろうプロジェクト」を立ち上げたのは、これまで海のある淡路島の景色に救われてきたからです。自分がつくる映像やイベントで、海を眺めているときのよう、悩んでいることや悲しいことを忘れさせることができたらという思いから、「海の映画館」をつくりたいと考えるようになりました。そして、映画館をつくるなら、心あったまるような映画もつくりたいと思い、製作したのが『あったまら銭湯』です。母校の先輩である俳優の笹野高史さんも無償でこの映画に協力してくれました。このプロジェクトを通して、多くの淡路島の人々の協力を得て、皆さんの心の温かさも感じました。そんな淡路島の魅力を講演でお話できればと思っています。

映画上映：『あったまら銭湯』 (主演：笹野高史)

【懇親会】13:00～15:30

着席でテーブルを囲み、和洋バイキングとお飲み物で懐かしい洲高青春時代を思い出し、大いに飲み、語り、楽しいひとときをみんなで過ごしましょう！

【会費】支部年会費：2,000 円 総会懇親会費：8,000 円

(平成 22 年以降の卒業で、首都圏在住の学生の方は、事前申込みで無料ご招待します。返信はがきにその旨ご記入ください)

出欠のお返事、および会費のお振り込みは、10 月 20 日 (木) までによりしくお願い申し上げます。